

3. 「墓地・納骨堂」に関する調査結果の総括

福岡市には、平尾霊園、三日月山霊園、西部霊園の3つの市立霊園があり、普通墓所に加え、承継を必要としない合葬式墓所（平尾霊園）を設けるなど、多様なニーズに対応している。

福岡市民の墓地・納骨堂に関する意識、実態やニーズを把握することにより、今後の福岡市における墓地行政の参考として、調査結果を確認したい。

（１）お墓や納骨堂の利用状況（問6～7）

亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の有無（問6）は、「ある」（53.9%）、「ない」（32.9%）、「わからない」（10.6%）で、明確に「ある」と回答した人は半数あまりである。性・年代別には、男女とも年代が高いほど「ある」の割合が高い傾向にあるのに対し、18～29歳では「ある」は3割前後にとどまる。

亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂が「ある」と回答した人の亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の種類（問7）は、「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」（40.2%）が最も多く、他の種類は「民営霊園（宗教団体などからの委託を受けて、民間の企業が管理・運営を行う霊園）」（13.8%）、「寺院等の墓地（寺院などが設置・管理するお墓）」（13.5%）などに分かれる。性・年代別には、男性30代、女性18～29歳では「わからない」の割合が約2割でやや高い。

（２）新たなお墓や納骨堂の取得意向（問8～12）

新たなお墓や納骨堂の取得意向（問8）は、「考えている」（21.0%）、「考えていない」（76.2%）で、新たな取得を考える人は多くない。性・年代別には、男女とも18～29歳は「考えている」の割合は1割未満と低く、必要性を認識している人はほとんどいない。一方、男性は40代、女性は50代を境に「考えている」の割合が2割を超えるが、それ以上に年齢が上昇しても割合は大きく変わらず、お墓や納骨堂の取得を考えるのは、年齢以外の要因も関係しているとみられる。

新たなお墓や納骨堂の取得を「考えている」人の考えている理由（問9）は、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」（55.6%）が主な理由で、このほか「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」（21.8%）もやや多い。性・年代別には、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」は男女とも30代で多いなど、若い人でも将来的な備えとして考えている人は一定数みられる。

新たなお墓や納骨堂の取得を「考えている」人が取得する場合に重視すること（問10）は、「費用（取得費や管理費）」（64.1%）、「自宅からの距離や交通利便性」（55.2%）などが多く、「管理や運営の形態」（26.1%）もやや多い。一方で「宗旨や宗派」は5.0%にとどまり、これから新たにお墓や納骨堂の取得を考える人は、宗教的な理由より、費用面や管理、お参りする際の交通利便性を優先する人が多い。

新たなお墓や納骨堂の取得を「考えている」人の希望するお墓や納骨堂（問11）は、「公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）」（43.6%）、「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」（24.1%）などが多い。取得する場合の重視点（問10）で費用が最も重視されていたことから、「公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）」に対して、費用的なメリットを持つ人が多いと考えられる。性・年代別には、女性の30代以下では

「わからない」が相対的に多く、取得を考えている人でも、自身に適したお墓や納骨堂がよくわからない人は多い。

新たなお墓や納骨堂の取得を「考えている」人の取得時期（問 12）は、「時期は決めていない」（38.2%）が主流で、決めている人も「10 年以内」（17.0%）、「5 年以内」（10.6%）などさまざまである。性・年代別には、男女とも 70 歳以上は「2 年以内」、「5 年以内」など相対的に短い時期のうちに取得を検討しており、特に男性 70 歳以上は『5 年以内（合計）』が過半数（55.9%）を占める。

（３）お墓や納骨堂に感じている問題（問 13）

現在お墓や納骨堂について感じている問題（問 13）は、「問題を感じていない」（32.5%）が最も多いが、「お墓や納骨堂の承継者がいない」（25.5%）、「取得費や管理費が高い」（23.6%）などの問題を感じる人もやや多い。性・年代別には、男女とも 70 歳以上は「問題を感じていない」が相対的に多く、ある程度対応や方針を整理している人が多いとみられる。これに対し、男性 30 代以下や女性 18～29 歳も「問題を感じていない」が相対的に多いが、若い年代では、まだ現実的な問題ととらえていない人も多いとみられ、同じ「問題を感じていない」でも、年代によってとらえ方は異なると考えられる。このほか、男女とも 40 代、50 代は「お墓や納骨堂の承継者がいない」が相対的に多く、自身の子どもなどが承継者とならない可能性を不安視する人も少なくないと考えられる。

（４）将来希望する埋葬等供養の方法（問 14）

将来、希望する埋葬等の供養の方法（問 14）は、「納骨堂」（37.0%）が最も多く、「散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）」（28.2%）、「墓地」（26.1%）、「樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）」（22.6%）もやや多い。性・年代別には、女性 40 代、50 代は「散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）」、「樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）」が相対的に多く、納骨堂や墓地などに入るより、海や樹木に葬送されることを望む人が少なくない。一方、男性 30 代以下は、「墓地」が最も多く、男性 18～29 歳では「散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）」や「樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）」が全性・年代の中でも最も少ない。

（５）「墓地・納骨堂」に関する調査結果のまとめ

自身が亡くなった際のお墓や納骨堂がある人は半数あまりで、年代が低いほどあるかどうかともわからない傾向にあり、普段意識していない人が少なくない。新たにお墓や納骨堂の取得を考えている人は一部で、必要性は感じながら、中長期的に考える人が多いとみられる。

取得する際に重視することは費用や交通利便性で、お墓や納骨堂がなくこれから新たに取得を考える人は、宗教的な理由より、費用面や利便性が優先され、費用面を重視すると公営霊園にメリットを感じる人が多いと考えられる。また、費用や交通利便性の重視は、自身だけでなく、承継する家族等の負担をできるだけ軽減したいという意識も含まれると考えられる。

現在、お墓や納骨堂がある人も、承継者や管理費などで問題を感じる人もみられるが、お墓や納骨堂について今あまり意識していない若い人も、今後、自身が承継する年代になって、改めて問題を認識する人も少なくないと考えられる。

一方、市民の自身の埋葬等供養に関する意識は、希望する方法では納骨堂が多いものの、女性40～50代では、散骨や樹木葬を望む人も多く、葬送に対する価値観の多様化がうかがえる。個人の意識に加え、家族等の負担軽減まで考える人も少なくないとみられる。一方で、20代以下の若い男性は、墓地や納骨堂など従来の供養方法をイメージする人が多く、散骨や樹木葬は特に少ないが、まだ現実的に関心を持つ人が少なく、さまざまな方法について情報を持たないことが背景にあると考えられる。

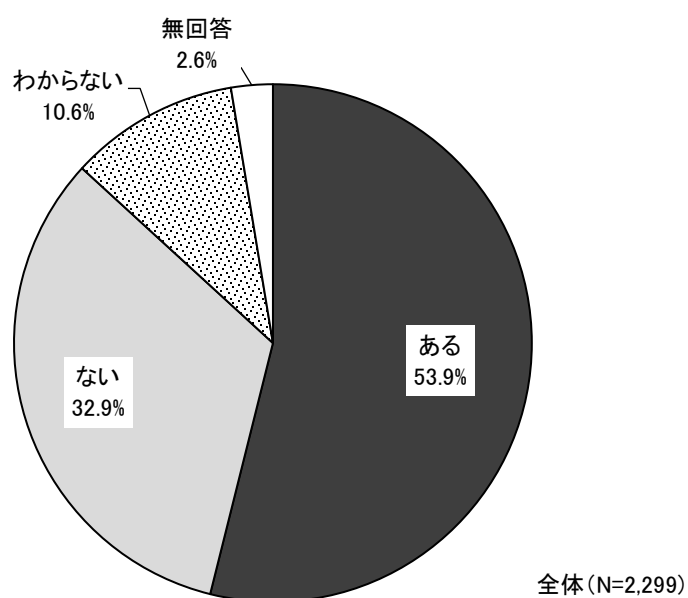
4. 「墓地・納骨堂」に関する調査結果

(1) 納骨できるお墓や納骨堂の有無

問6 あなたには、現在、あなたが亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂がありますか。
あてはまるものを **1つだけ** 選んでください。

納骨できるお墓や納骨堂の有無を聞いたところ、「ある」が53.9%と最も多く、次いで「ない」(32.9%)、「わからない」(10.6%) となっている。

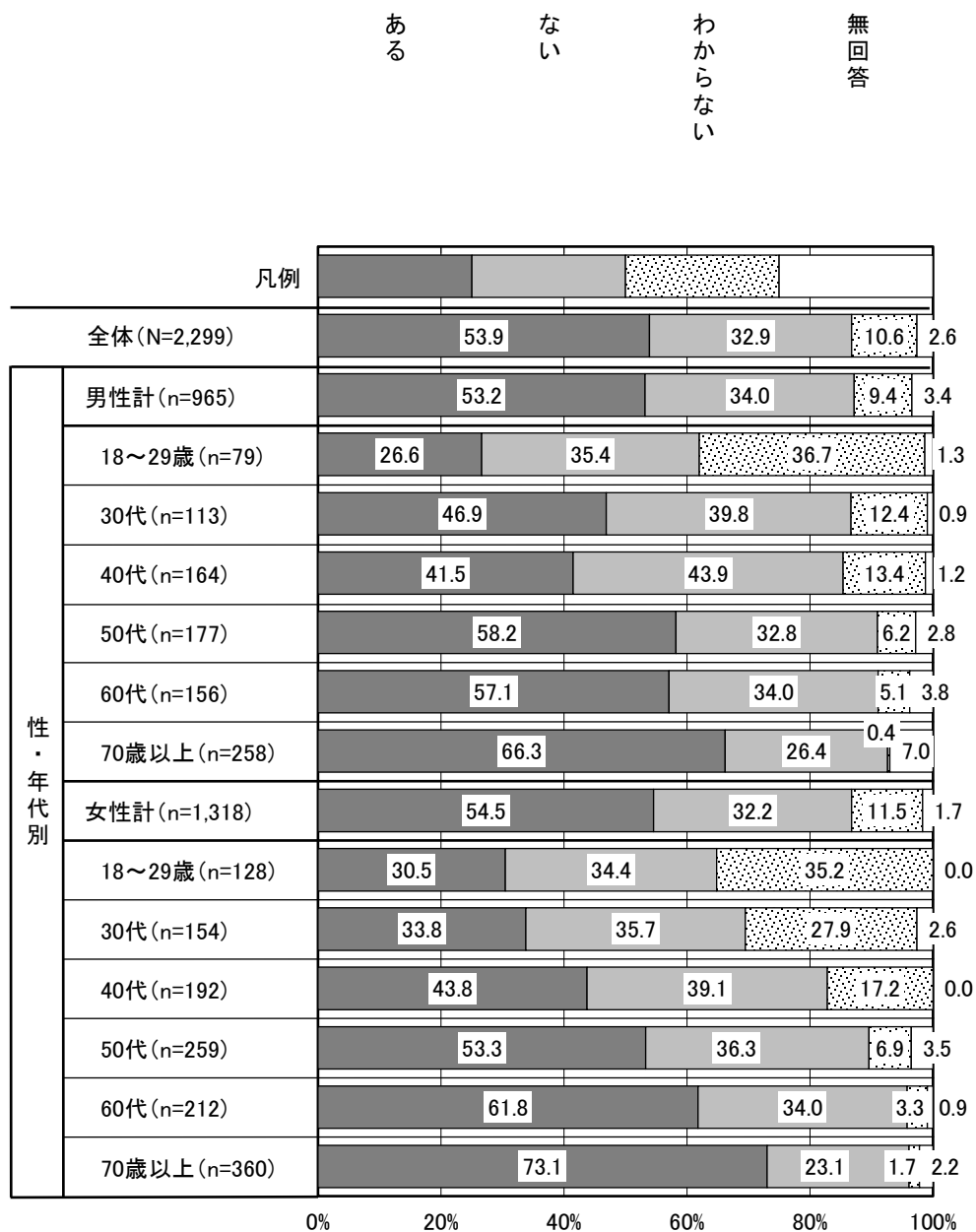
図表 納骨できるお墓や納骨堂の有無【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、女性では年代が高いほど「ある」の割合が高くなり、男性では年代が高いほど「ある」の割合が高くなる傾向がある。

図表 納骨できるお墓や納骨堂の有無【性・年代別】



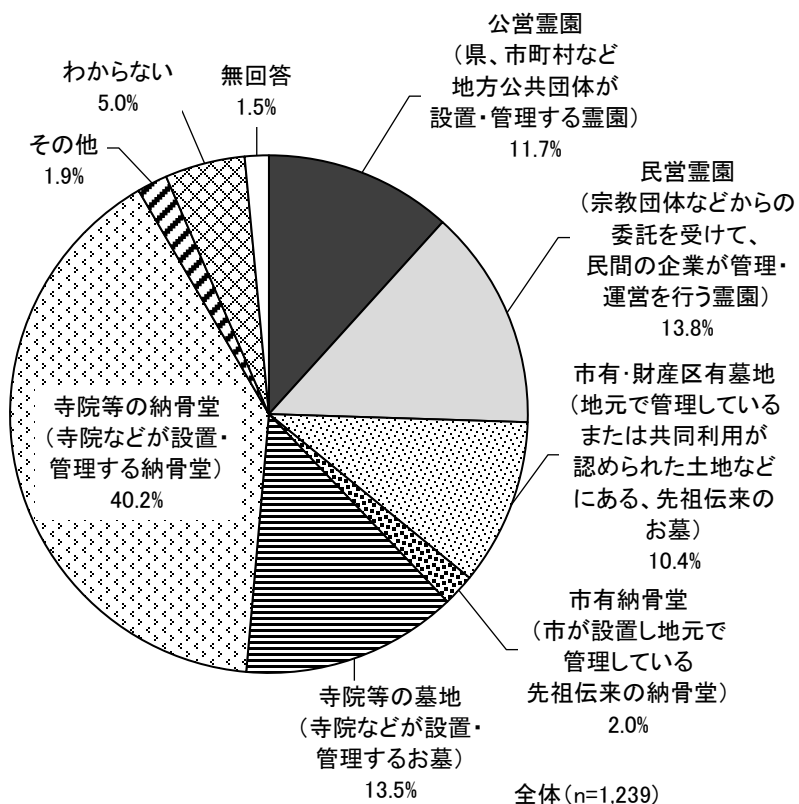
(2) 納骨できるお墓や納骨堂の種類

問7 ≪ 問6で「1」と回答した方におたずねします。≫

それはどのようなお墓や納骨堂ですか。あてはまるものを **1つだけ** 選んでください。

納骨できるお墓や納骨堂の種類を聞いたところ、「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」が40.2%と最も多く、次いで「民営霊園（宗教団体などからの委託を受けて、民間の企業が管理・運営を行う霊園）」（13.8%）、「寺院等の墓地（寺院などが設置・管理するお墓）」（13.5%）となっている。

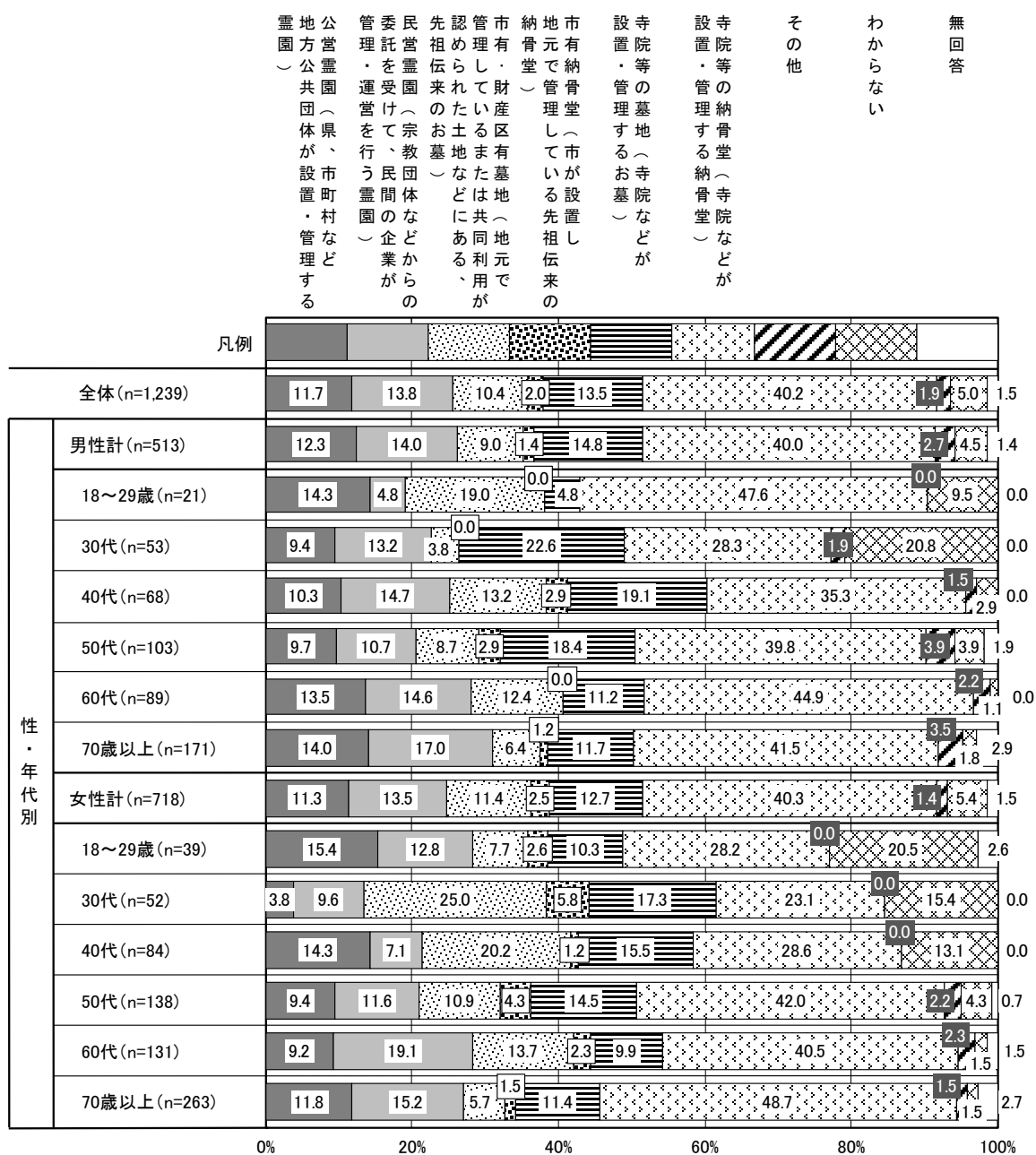
図表 納骨できるお墓や納骨堂の種類【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 18～29 歳、女性 70 歳以上では「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」の割合が、女性 60 代では「民営霊園（宗教団体などからの委託を受けて、民間の企業が管理・運営を行う霊園）」の割合が、他の性・年代に比べて高くなっている。また、男性 30 代、女性 18～40 代では「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」の割合が 2 割台となっており、他の性・年代に比べて低くなっている。

図表 納骨できるお墓や納骨堂の種類【性・年代別】



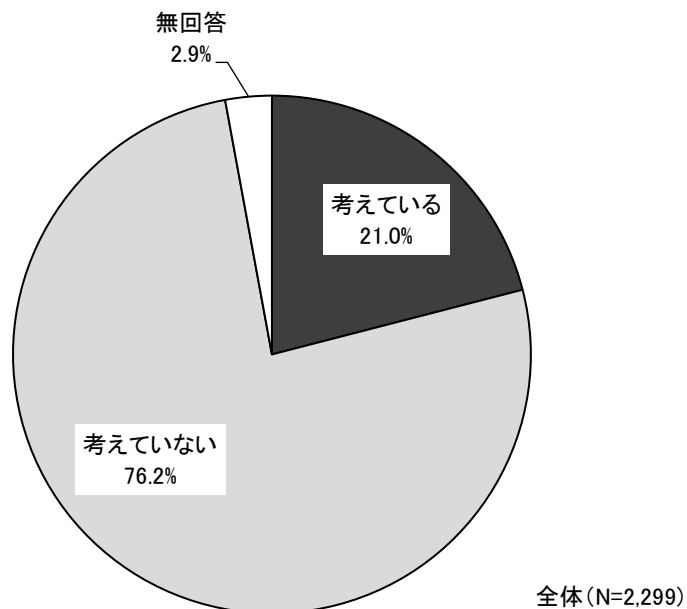
(3) 新たなお墓や納骨堂の取得意向

問8 《すべての方におたずねします。》

あなたは、新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか（時期は関係なく）。あてはまるものを 1つだけ 選んでください。

新たなお墓や納骨堂の取得意向を聞いたところ、「考えている」が21.0%、「考えていない」が76.2%となっている。

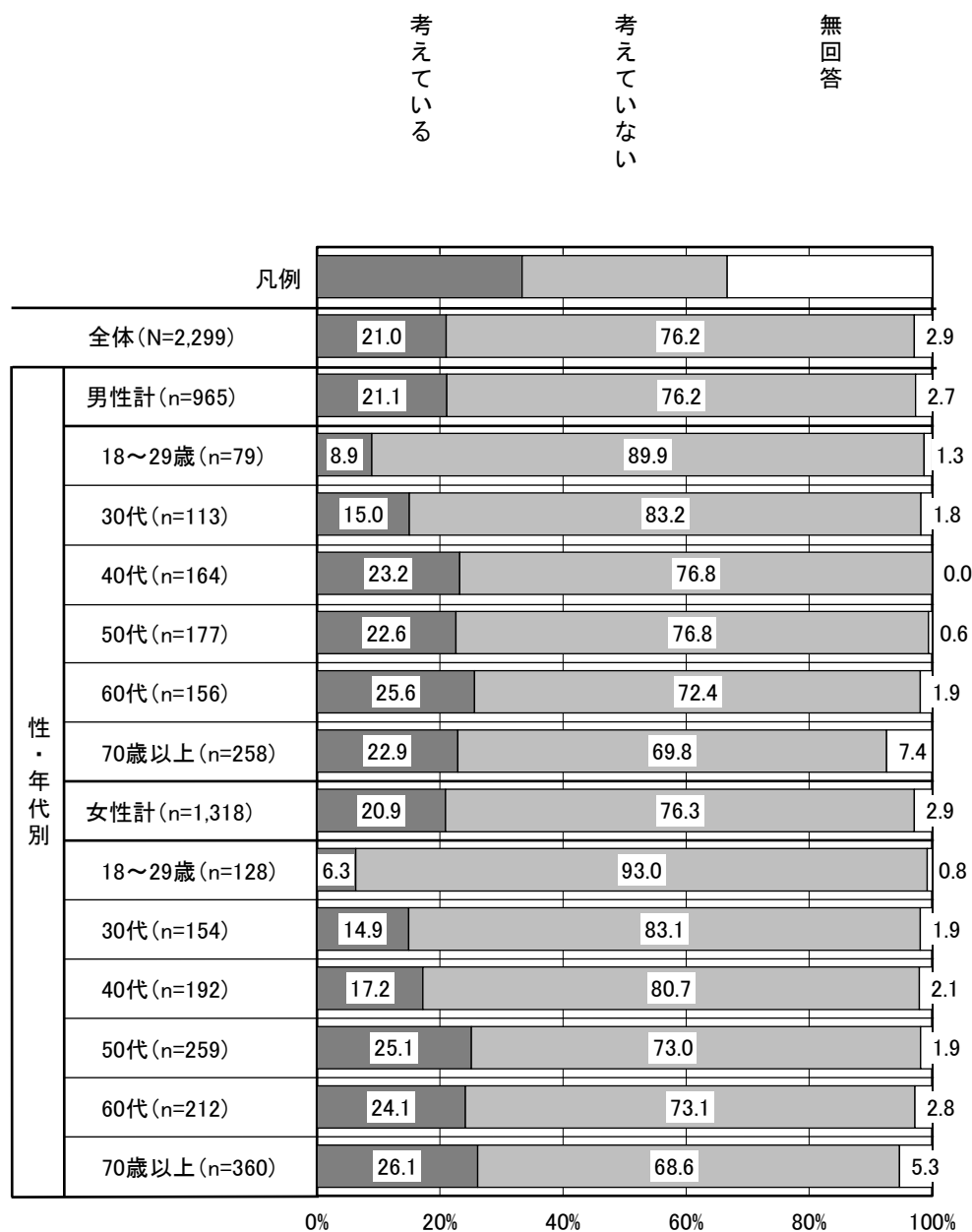
図表 新たなお墓や納骨堂の取得意向【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、女性では概ね年代が高いほど「考えている」の割合が高くなっており、男性では年代が高いほど「考えている」の割合が高くなる傾向がある。

図表 新たなお墓や納骨堂の取得意向【性・年代別】



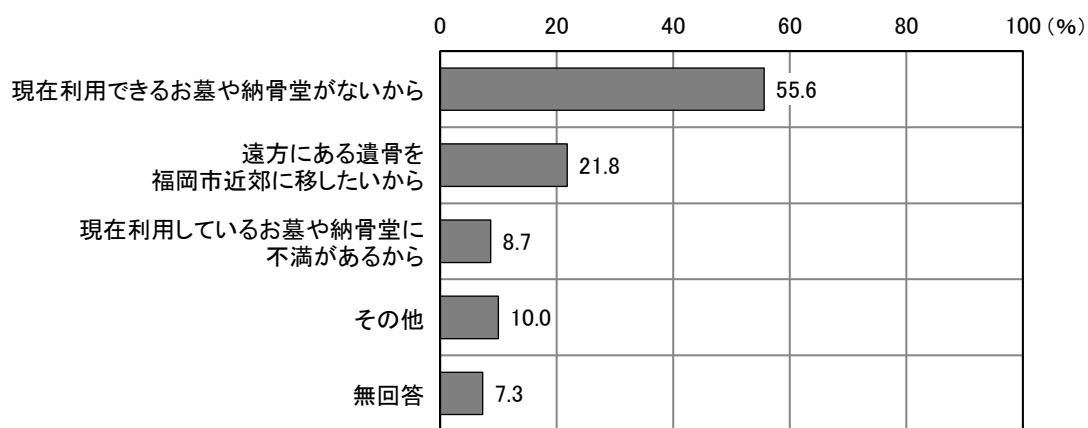
(4) 新たなお墓や納骨堂の取得理由

問9 ≪ 問8で「1」と回答した方におたずねします。≫

新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由は何ですか。あてはまるものを **すべて** 選んでください。

新たなお墓や納骨堂の取得理由を聞いたところ、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」が55.6%と最も多く、次いで「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」(21.8%)、「その他」(10.0%) となっている。

図表 新たなお墓や納骨堂の取得理由【全体】※複数回答（すべて）



全体 (n=482)

性別にみると、男性では「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」（26.5％）の割合が女性（18.5％）に比べて8.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性60代では「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」の割合が35.0％となっており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 新たなお墓や納骨堂の取得理由【性・年代別】

単位：％

		調査数	現在利用できないお墓や納骨堂	遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから	現在利用しているお墓や納骨堂に不満があるから	その他	無回答
全 体		482	55.6	21.8	8.7	10.0	7.3
性・年代別	男性計	204	56.9	26.5	7.4	7.4	5.4
	18～29歳	7	42.9	28.6	28.6	－	14.3
	30代	17	64.7	17.6	11.8	5.9	5.9
	40代	38	57.9	26.3	7.9	10.5	－
	50代	40	55.0	30.0	7.5	5.0	2.5
	60代	40	57.5	35.0	7.5	7.5	－
	70歳以上	59	57.6	22.0	3.4	6.8	11.9
	女性計	275	54.2	18.5	9.8	12.0	8.7
	18～29歳	8	87.5	－	－	12.5	－
	30代	23	69.6	17.4	－	4.3	8.7
	40代	33	51.5	24.2	12.1	9.1	6.1
	50代	65	52.3	26.2	12.3	13.8	1.5
	60代	51	56.9	17.6	5.9	15.7	3.9
	70歳以上	94	48.9	13.8	12.8	11.7	17.0

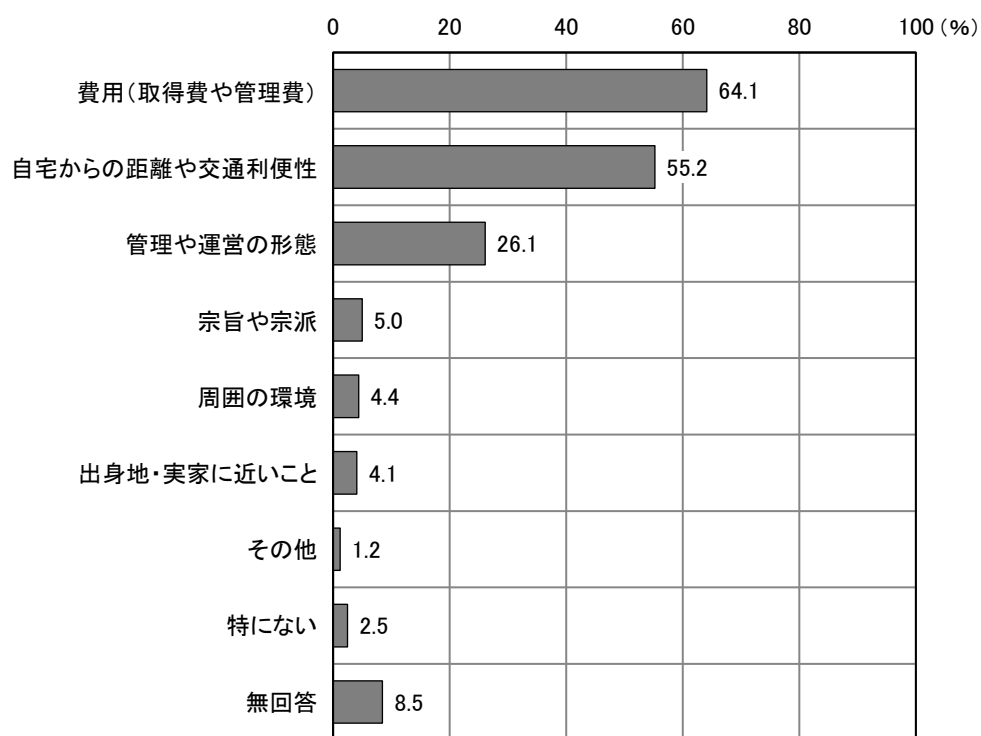
(5) 新たなお墓や納骨堂の取得時に重視すること

問 10 ≪ 問8で「1」と回答した方におたずねします。≫

お墓や納骨堂を取得する場合、重視することは何ですか。特にあてはまるものを **2 つまで** 選んでください。

新たなお墓や納骨堂の取得時に重視することを聞いたところ、「費用（取得費や管理費）」が64.1%と最も多く、次いで「自宅からの距離や交通利便性」(55.2%)、「管理や運営の形態」(26.1%)となっている。

図表 新たなお墓や納骨堂の取得時に重視すること【全体】※複数回答（2つまで）



全体 (n=482)

性別にみると、女性では「費用（取得費や管理費）」（66.5％）の割合が男性（60.3％）に比べて6.2ポイント、男性では「管理や運営の形態」（29.4％）の割合が女性（24.0％）に比べて5.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性60代、女性30代・50代・60代では「費用（取得費や管理費）」、男性30代では「管理や運営の形態」の割合が、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 新たなお墓や納骨堂の取得時に重視すること【性・年代別】

※複数回答（すべて）

単位：％

		調査数	費用（取得費や管理費）	自宅からの距離や交通利便性	管理や運営の形態	宗旨や宗派	周囲の環境	出身地・実家に近いこと	その他	特にない	無回答
全 体		482	64.1	55.2	26.1	5.0	4.4	4.1	1.2	2.5	8.5
性・年代別	男性計	204	60.3	52.9	29.4	5.9	4.4	4.9	2.5	2.5	6.9
	18～29歳	7	42.9	71.4	－	－	－	14.3	－	－	14.3
	30代	17	64.7	29.4	47.1	－	5.9	5.9	－	5.9	11.8
	40代	38	63.2	52.6	39.5	10.5	2.6	2.6	－	2.6	2.6
	50代	40	57.5	57.5	32.5	5.0	2.5	7.5	5.0	－	5.0
	60代	40	72.5	62.5	25.0	10.0	2.5	5.0	2.5	－	5.0
	70歳以上	59	54.2	50.8	22.0	3.4	8.5	3.4	3.4	3.4	8.5
	女性計	275	66.5	56.4	24.0	4.4	4.4	3.6	0.4	2.5	9.8
	18～29歳	8	62.5	62.5	12.5	－	12.5	－	－	12.5	－
	30代	23	69.6	47.8	34.8	－	13.0	4.3	－	8.7	－
	40代	33	63.6	57.6	24.2	6.1	3.0	3.0	－	－	15.2
	50代	65	69.2	56.9	26.2	3.1	4.6	6.2	－	1.5	9.2
	60代	51	70.6	64.7	25.5	7.8	2.0	2.0	－	2.0	5.9
	70歳以上	94	63.8	52.1	20.2	4.3	3.2	3.2	1.1	2.1	13.8

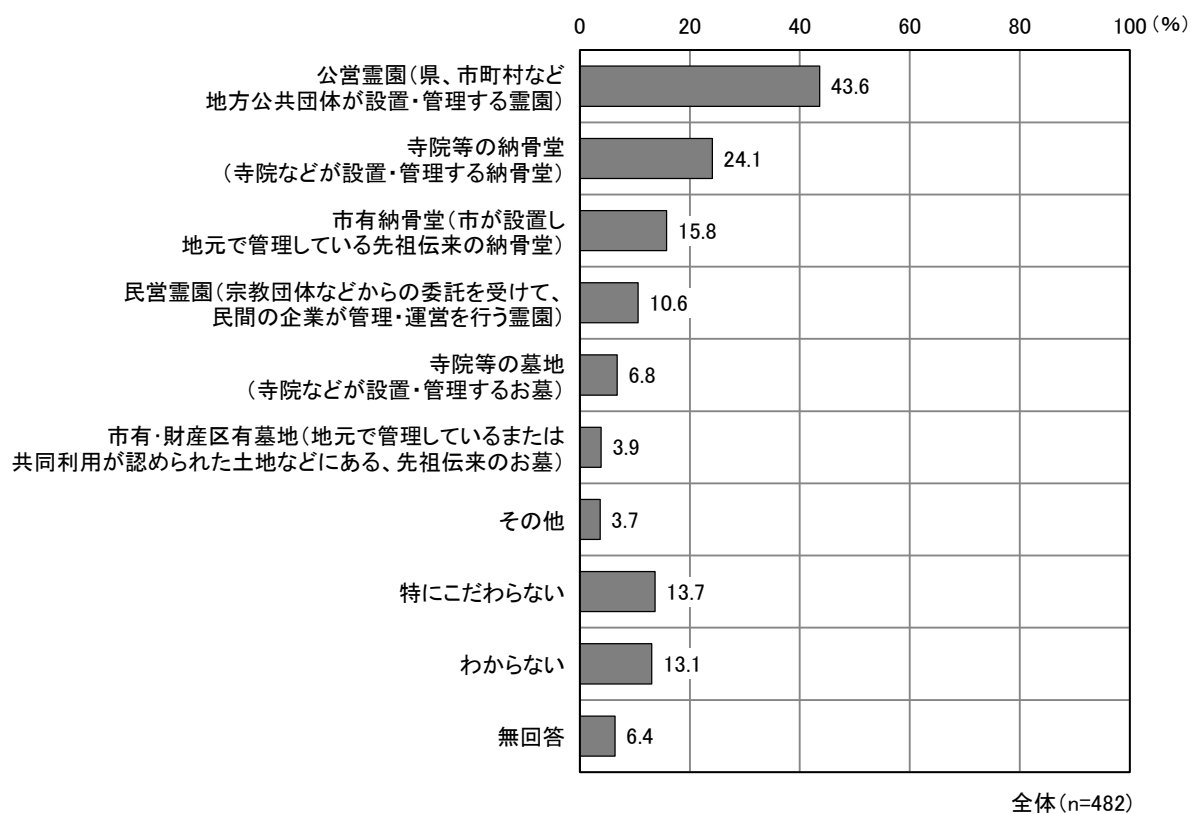
(6) 新たに希望するお墓や納骨堂の種類

問 11 << 問8で「1」と回答した方におたずねします。>>

どのようなお墓や納骨堂を希望しますか。あてはまるものを すべて 選んでください。

新たに希望するお墓や納骨堂の種類を聞いたところ、「公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）」が43.6%と最も多く、次いで「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」(24.1%)、「市有納骨堂(市が設置し地元で管理している先祖伝来の納骨堂)」(15.8%)となっている。

図表 新たに希望するお墓や納骨堂の種類【全体】※複数回答（すべて）



性別にみると、男性では「寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）」（28.4％）の割合が女性（21.1％）に比べて7.3ポイント、「公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）」（47.5％）の割合が女性（40.4％）に比べて7.1ポイント、「市有納骨堂（市が設置し地元で管理している先祖伝来の納骨堂）」（19.6％）の割合が女性（13.1％）に比べて6.5ポイント、「民営霊園（宗教団体などからの委託を受けて、民間の企業が管理・運営を行う霊園）」（14.2％）の割合が女性（8.0％）に比べて6.2ポイント高く、女性では「わからない」（15.6％）の割合が男性（9.8％）に比べて5.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性50代～70歳以上では「公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）」の割合が、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 新たに希望するお墓や納骨堂の種類【性・年代別】※複数回答（すべて）

単位：％

		調査数	公営霊園（県、市町村など地方公共団体が設置・管理する霊園）	寺院等の納骨堂（寺院などが設置・管理する納骨堂）	市有納骨堂（市が設置し地元で管理している先祖伝来の納骨堂）	民営霊園（宗教団体などからの委託を受けて、民間の企業が管理・運営を行う霊園）	寺院等の墓地（寺院などが設置・管理するお墓）	市有・財産区有墓地（地元で管理しているまたは共同利用が認められた土地などにある先祖伝来のお墓）	その他	特にこだわらない	わからない	無回答
全 体		482	43.6	24.1	15.8	10.6	6.8	3.9	3.7	13.7	13.1	6.4
性・年代別	男性計	204	47.5	28.4	19.6	14.2	9.3	3.9	2.9	13.2	9.8	4.4
	18～29歳	7	71.4	14.3	14.3	—	14.3	—	—	—	14.3	14.3
	30代	17	23.5	29.4	11.8	17.6	11.8	—	—	23.5	11.8	5.9
	40代	38	42.1	31.6	13.2	7.9	13.2	5.3	2.6	26.3	2.6	2.6
	50代	40	50.0	30.0	20.0	27.5	10.0	10.0	2.5	2.5	12.5	5.0
	60代	40	55.0	22.5	17.5	17.5	10.0	2.5	7.5	20.0	7.5	2.5
	70歳以上	59	49.2	32.2	28.8	8.5	5.1	1.7	—	6.8	10.2	5.1
	女性計	275	40.4	21.1	13.1	8.0	5.1	3.6	4.4	13.8	15.6	8.0
	18～29歳	8	25.0	12.5	—	—	12.5	—	—	12.5	50.0	12.5
	30代	23	26.1	13.0	4.3	8.7	4.3	4.3	—	17.4	34.8	4.3
	40代	33	36.4	21.2	12.1	9.1	15.2	3.0	3.0	24.2	18.2	6.1
	50代	65	38.5	18.5	9.2	12.3	3.1	1.5	7.7	15.4	20.0	7.7
	60代	51	43.1	25.5	13.7	9.8	3.9	—	3.9	15.7	11.8	2.0
	70歳以上	94	46.8	22.3	19.1	4.3	3.2	7.4	4.3	7.4	6.4	12.8

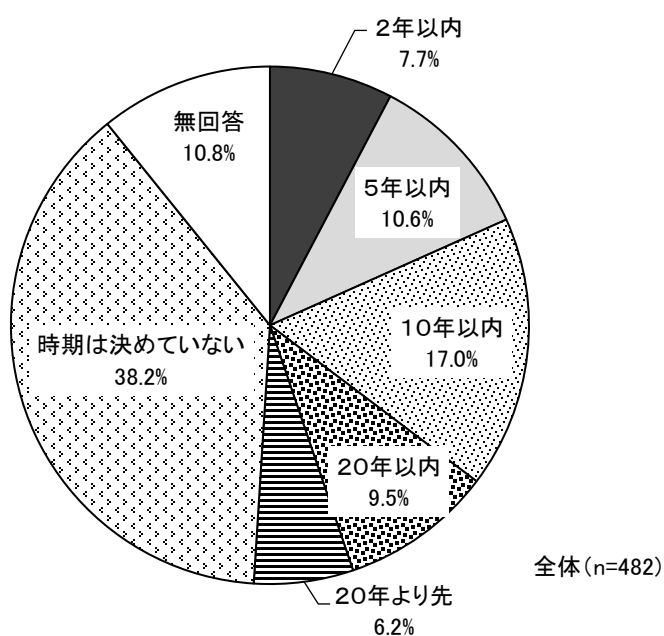
(7) 新たなお墓や納骨堂の取得時期

問 12 ≪ 問8で「1」と回答した方におたずねします。≫

お墓や納骨堂の取得はいつ頃を検討していますか。あてはまるものを 1つだけ 選んでください。

新たなお墓や納骨堂の取得時期を聞いたところ、「時期は決めていない」が 38.2%と最も多く、次いで「10年以内」(17.0%)、「5年以内」(10.6%) となっている。

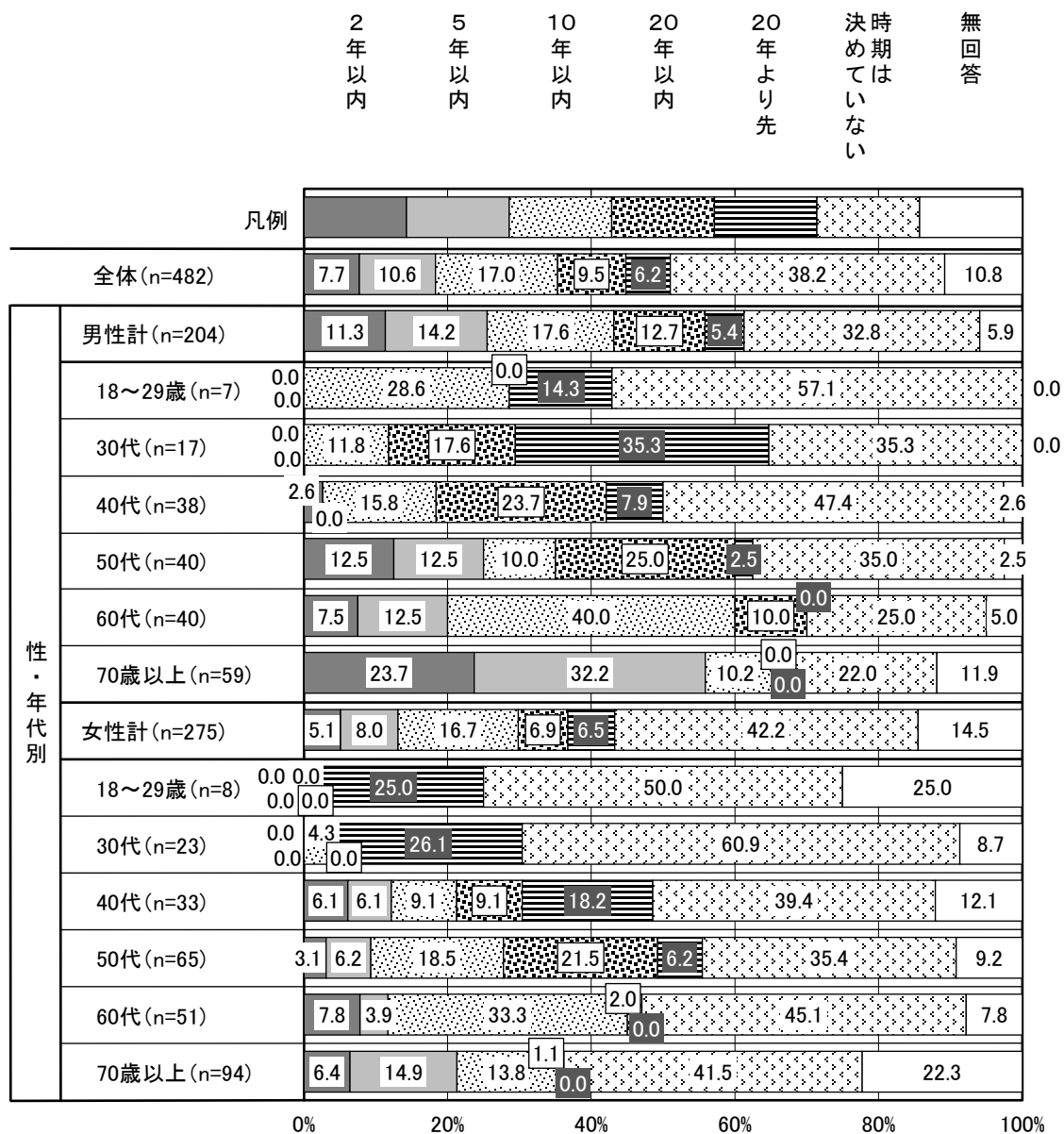
図表 新たなお墓や納骨堂の取得時期【全体】



性別にみると、女性では「時期は決めていない」(42.2%)の割合が男性(32.8%)に比べて9.4ポイント、男性では「2年以内」(11.3%)の割合が女性(5.1%)に比べて6.2ポイント、「5年以内」(14.2%)の割合が女性(8.0%)に比べて6.2ポイント、「20年以内」(12.7%)の割合が女性(6.9%)に比べて5.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男性70歳以上では「2年以内」、「5年以内」の割合が他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 新たなお墓や納骨堂の取得時期【性・年代別】

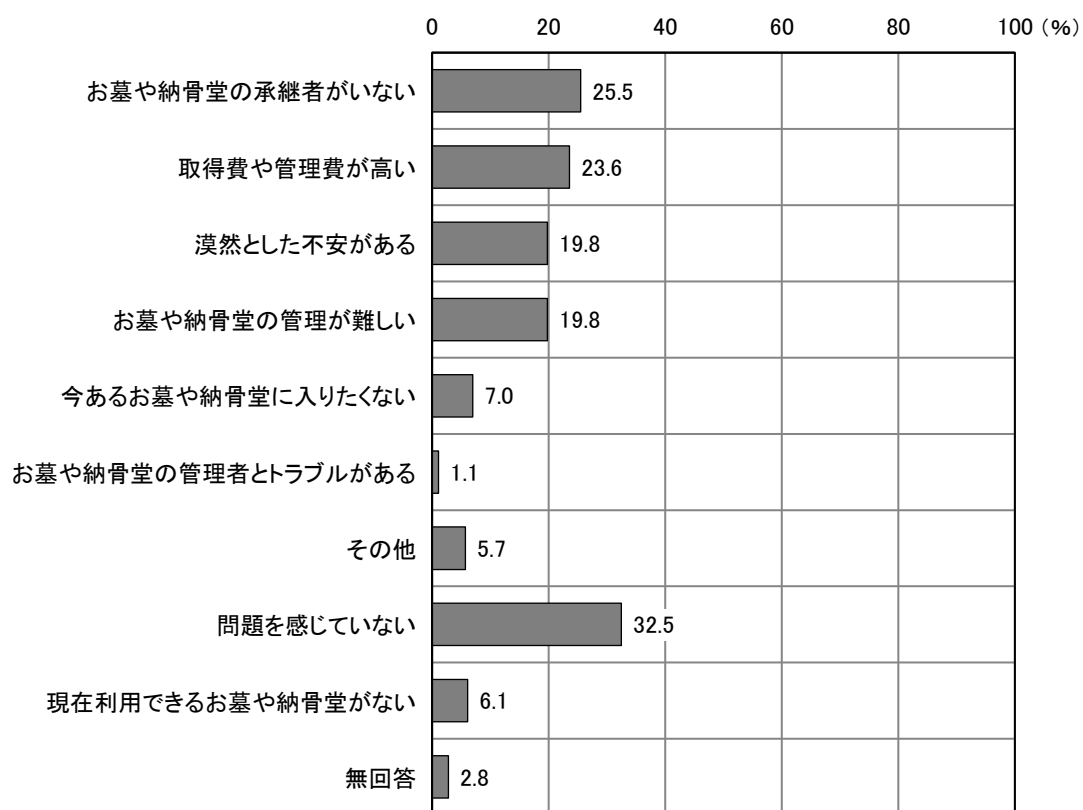


(8) 現在お墓や納骨堂について感じている問題

問 13 あなたは、現在お墓や納骨堂について何か問題を感じていますか。あてはまるものを すべて 選んでください。

現在お墓や納骨堂について感じている問題を聞いたところ、「問題を感じていない」が 32.5%と最も多く、次いで「お墓や納骨堂の承継者がいない」(25.5%)、「取得費や管理費が高い」(23.6%)となっている。

図表 現在お墓や納骨堂について感じている問題【全体】※複数回答(すべて)



全体 (N=2,299)

性別にみると、女性では「今あるお墓や納骨堂に入りたくない」(9.5%)の割合が男性(3.7%)に比べて5.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、女性30代・40代では「お墓や納骨堂の管理が難しい」、男性18～29歳・30代・70歳以上、女性18～29歳・70歳以上では「問題を感じていない」の割合が、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 現在お墓や納骨堂について感じている問題【性・年代別】

※複数回答(すべて)

単位: %

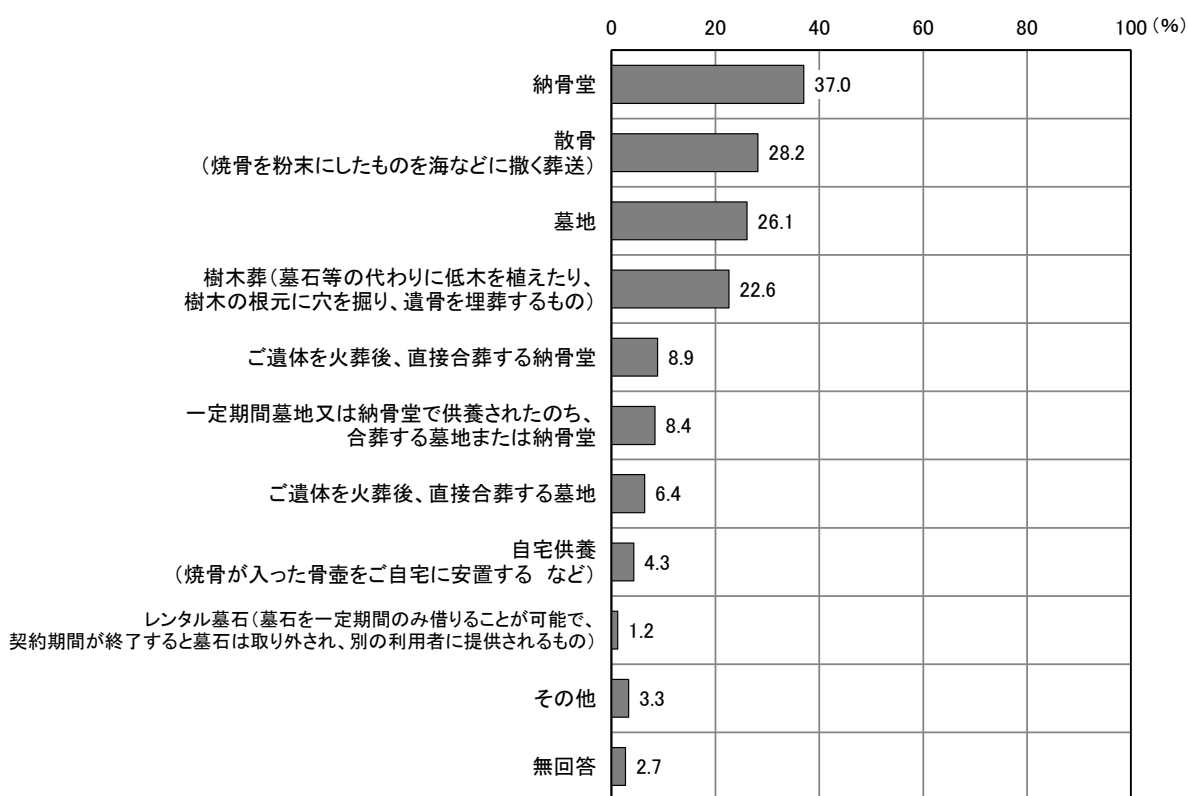
		調査数	いお墓や納骨堂の承継者がいない	取得費や管理費が高い	漠然とした不安がある	お墓や納骨堂の管理が難しい	今あるお墓や納骨堂に入りたくない	お墓や納骨堂の管理者とトラブルがある	その他	問題を感じていない	現在利用できるお墓や納骨堂がない	無回答
全 体		2,299	25.5	23.6	19.8	19.8	7.0	1.1	5.7	32.5	6.1	2.8
性・年代別	男性計	965	27.2	22.2	18.0	18.0	3.7	1.6	4.1	35.1	6.5	2.9
	18～29歳	79	12.7	20.3	11.4	12.7	2.5	2.5	1.3	54.4	8.9	—
	30代	113	18.6	21.2	15.0	22.1	0.9	2.7	5.3	41.6	6.2	2.7
	40代	164	31.7	27.4	17.7	22.6	4.3	1.2	3.0	27.4	7.9	1.2
	50代	177	34.5	27.7	23.2	21.5	4.5	2.8	5.6	29.9	4.5	0.6
	60代	156	35.9	26.9	24.4	21.2	8.3	0.6	3.8	25.6	6.4	2.6
	70歳以上	258	20.9	11.6	14.7	9.7	1.9	0.8	4.7	41.1	7.0	6.6
	女性計	1,318	24.4	24.6	21.2	21.2	9.5	0.8	7.0	30.6	5.8	2.6
	18～29歳	128	17.2	19.5	18.0	24.2	3.9	—	3.1	43.8	6.3	2.3
	30代	154	21.4	33.8	24.7	29.9	9.1	1.9	6.5	30.5	9.7	0.6
	40代	192	29.2	29.2	25.0	29.2	11.5	—	6.8	19.3	7.3	1.6
	50代	259	30.1	29.3	25.9	23.9	17.8	0.8	9.7	20.8	4.6	1.2
	60代	212	25.9	22.6	24.1	20.3	7.1	0.5	8.0	27.8	4.2	1.9
	70歳以上	360	20.6	18.3	13.6	10.8	6.4	1.1	6.1	40.3	5.0	5.6

(9) 将来、希望する埋葬等の供養の方法

問 14 将来、あなたが亡くなった場合、埋葬等の供養の方法はどのような形式のものを希望しますか。あてはまるものを **すべて** 選んでください。

将来、希望する埋葬等の供養の方法を聞いたところ、「納骨堂」が 37.0%と最も多く、次いで「散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）」(28.2%)、「墓地」(26.1%) となっている。

図表 将来、希望する埋葬等の供養の方法【全体】※複数回答（すべて）



全体 (N=2,299)

性別にみると、女性では「樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）」（26.0％）の割合が男性（17.9％）に比べて8.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、女性70歳以上では「納骨堂」、女性40代・50代では「散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）」、男性18～29歳・30代、女性18～29歳では「墓地」、女性50代では「樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）」の割合が、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 将来、希望する埋葬等の供養の方法【性・年代別】※複数回答（すべて）

単位：％

		調査数	納骨堂	散骨（焼骨を粉末にしたものを海などに撒く葬送）	墓地	樹木葬（墓石等の代わりに低木を植えたり、樹木の根元に穴を掘り、遺骨を埋葬するもの）	ご遺体を火葬後、直接合葬する納骨堂	一定期間、墓地又は納骨堂で供養されたのち、合葬する墓地または納骨堂	ご遺体を火葬後、直接合葬する墓地	自宅供養（焼骨が入った骨壺を自宅に安置するなど）	借り手と墓石が可成り、一定期間の利便性を提供する墓石（墓石を一定期間の利便性を提供する墓石）	その他	無回答
全 体		2,299	37.0	28.2	26.1	22.6	8.9	8.4	6.4	4.3	1.2	3.3	2.7
性・年代別	男性計	965	36.4	26.5	29.0	17.9	10.6	6.9	6.7	5.4	1.3	2.5	2.7
	18～29歳	79	34.2	16.5	41.8	12.7	8.9	1.3	6.3	8.9	2.5	2.5	2.5
	30代	113	30.1	33.6	37.2	13.3	8.0	6.2	6.2	5.3	5.3	3.5	2.7
	40代	164	36.6	35.4	26.8	18.9	7.3	6.7	5.5	4.9	0.6	0.6	1.8
	50代	177	37.3	27.1	28.8	18.1	6.8	7.9	7.9	3.4	1.7	6.2	0.6
	60代	156	38.5	30.1	25.6	26.3	11.5	5.8	6.4	5.1	—	0.6	1.9
	70歳以上	258	38.4	18.6	25.6	14.7	15.5	8.9	6.6	6.2	0.4	1.9	5.0
	女性計	1,318	37.4	29.5	24.1	26.0	7.8	9.6	6.2	3.3	1.1	3.9	2.5
	18～29歳	128	35.2	28.1	34.4	20.3	4.7	0.8	6.3	4.7	—	6.3	3.1
	30代	154	35.7	32.5	28.6	21.4	9.1	5.2	5.2	3.9	4.5	7.8	3.9
	40代	192	33.3	40.1	26.0	31.3	6.3	12.0	5.2	4.2	1.6	4.7	0.5
	50代	259	33.2	39.4	19.3	37.5	7.7	10.4	8.1	2.3	0.4	3.9	2.3
	60代	212	38.7	27.8	24.5	30.2	8.0	12.3	5.7	1.4	0.5	1.9	1.4
	70歳以上	360	43.1	17.2	21.1	16.9	9.2	11.4	6.4	3.9	0.6	1.9	3.6